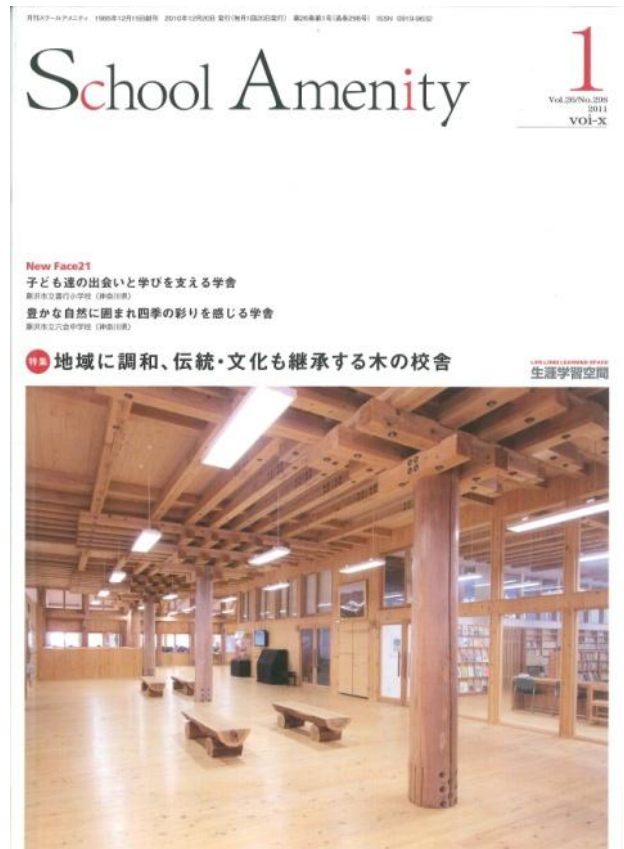


# 月刊 スクールアメニティ

## 1月号に 弊社が施工しました 亀山市立関中学校が 掲載されました。 (記事抜粋)



多目的ホール

歴史ある街並み、伝統文化の継承、  
木のぬくもりのある校舎

### 亀山市立関中学校(三重県)

所在地：三重県亀山市関町新所1863 / 電話：0595-96-0115

歴史ある関宿のイメージを受け継いでつくられた亀山市立関中学校。地域の歴史と先人の営みを受け継ぐ学び舎は、わが国伝統の建材である木をふんだんに活用してつくられた。



関宿の街道をイメージしてつくられた中庭と校舎



木材の使い方がわかる廊下



ツールバーにあるズーム⊕で拡大できます。

## 歴史ある街並み、伝統文化の継承、木のぬくもりのある校舎 亀山市立関中学校 (三重県)

古く東海道開館を構えるまち並みと賑わいをイメージさせる校舎づくりと地域景観へ調和、文化の継承



中庭を中心とした校舎群。旧街道の宿場まちをイメージする校舎づくり

現在の三重県亀山市は、最も近い市町村合併が、平成17年の亀山市と旧四町の合併によって生まれた新市だ。同市は、古来より東海道の要衝などとして栄え、亀山宿・関宿・坂下宿の3宿場があった。

亀山市は、こうした歴史・文化を保存し、歴史的な文化・伝統を将来へも継承するために、「亀山市歴史的風致維持向上計画」によって、旧まちなみの保存に力を入れている。

今回の同市関中学校の改築は、旧校舎の耐震力不足によって校舎の全面改

築を余儀なくされたものだが、同校がある関町は、旧四宿で、歴史的風致維持地区でもある。そのため、周辺の景観やまち並みとの調和が強く求められた。

改築では、2007年（平成19年）亀山市立関中学校校舎改築検討委員会を設置、2008年（平成20年）1月までに検討委員会4回、ワーキング7回を開催し、結果を最終報告書としてまとめた。その改築の基本コンセプトは以下の通りである。

亀山市立関中学校新校舎は、豊かな緑に囲まれ、鈴鹿川の源流のある鈴鹿国

定公園に隣接し、また、旧東海道開館の伝統的建造物群保存地区に指定される地区でもある場所に建築された。

校舎は、このすばらしい環境の中で、生徒たちが、ゆったりとした気持ちを持って、勉強に励み、また、将来において、学校そのものに誇りをもてる校舎であることが望まれた。

さらに、人間形成の過程において、非常に敏感で、デリケート、そして、世の中の動きにも興味を持ち出す中学生という大切な時間を過ごす場として、学校そのものが、感性を磨く場、



関中学校生徒が作成した軒先瓦



ハイサイドライトからの自然採光・普通教室



木素材を活用した明るい昇降口



バリアフリーの多目的トイレ

人間の五感を働かせて活動する場であることを考慮している。

イメージとしての校舎は、木のぬくもりを感じさせることができ、キーワードをエコロジーにもち、学習意欲が湧き、また、心も身体もある意味ホッとできる、ひと息つける学校像を目指す。（亀山市立関中学校校舎改築に関する基本コンセプトより）

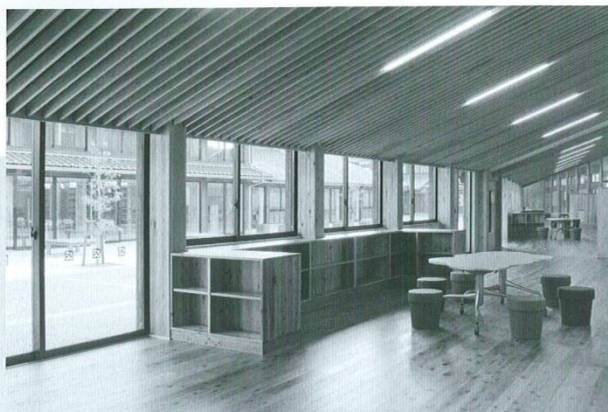
この基本コンセプトにもとづき、同校改築工事設計者審査委員会を設置し、最終審査の結果、石本建築事務所（名古屋支所）の提案に決定した。

建築工事は、2009年（平成21年）6月から2011年（平成23年）3月までとなっているが、今年8月新校舎が完成した。

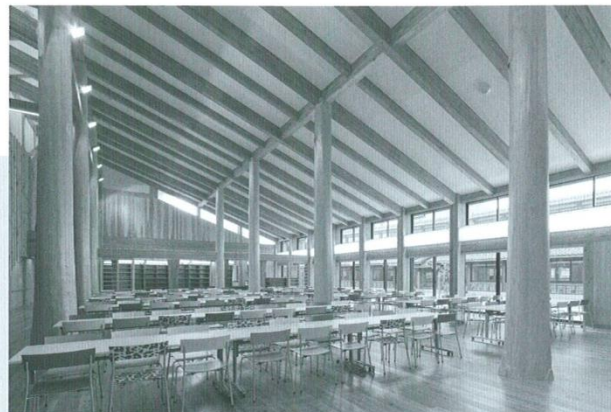
校舎は、全体がまさに東海道の宿場町、関宿の往事において繁栄したまち並みを追憶させるイメージ。それを、現代に継承するデザインとなっており、また、木の香、ぬくもりのある校舎（学びの場）となっている。

さらに、そのまち並みが生徒へのふりさへへの誇りと愛着を育み、心のよりどころとなるよう整備された。

内部空間は、全学年ユニットを同一階に連続的に配置しており、生徒たちが日常的に自然な形で異学年交流ができるよう配慮している。1階南側にメディアセンター及び、多目的ホールが一体となって空間が対面している。建物校舎群自体が中庭（街道イメージ）を中心に緩やかな弧を描いて続き、まさに街道に賑わいのあるまち並みが造りだされている様である。生徒たちは、いたるところに自分の居場所を見つけだすことができる柔軟度の高い空間計画である。



中庭の様子もよく見えるワークスペース



まさに、多目的に使用する多目的ホール

### 施設概要

所在地：亀山市関町新所1863番地内  
敷地面積：30,559.82㎡  
用途地域：都市計画区域内 第二種中高層住居専用地域、第二種住居地域  
防火地域：指定なし  
建ぺい率：14.17%（許容60%）  
容積率：17.64%（許容200%）  
建築面積・延床面積・構造規模：  
新校舎棟 / 2,323.89㎡・2,628.99㎡・木造一部鉄骨造地上2階  
クラブハウス1 / 44.37㎡・44.37㎡・鉄筋コンクリート造地上1階  
クラブハウス2 / 48.60㎡・48.60㎡・鉄筋コンクリート造地上1階  
駐輪場 / 36.00㎡・36.00㎡・木造地上1階  
渡り廊下 / 95.18㎡・0.00㎡・木造地上1階  
工期：平成21年6月19日～平成23年3月10日（完成予定）

設計：（株）石本建築事務所 名古屋支所  
施工：堀田建設株式会社（建築）、株式会社三扇電気（電気設備）、  
ダイワ空調設備株式会社（機械設備）

工事概要：  
新校舎棟建設工事（管理教室棟）  
1階 / 普通教室6室、少人数教室・特別支援教室5室、パソコン教室、メディアセンター、多目的ホール、配膳室、カウンセラー相談室、校長室、事務室、職員室、放送室、保健室、昇降口  
2階 / 多目的室、生徒会室、会議室、職員更衣室・休憩室、リソース室2室  
付属建物建設工事（クラブハウス2棟、駐輪場、渡り廊下）  
屋外整備工事（テニスコート、外構他）  
既存校舎改修工事（特別教室棟、体育館）  
既存校舎等解体工